



北小だより

令和7年6月3日（火）

発行者：福島市立北沢又小学校長 高橋 哲也

学びいっぱい
やさしさいっぱい
元気いっぱい

子どもたちを、学校を育てる“ふれあい交流活動”に

6月から“ふれあい交流活動”が本格的に始まります！

1つの班に1年生から6年生の子どもが入って清掃（ふれあい清掃）や集会（ふれあい集会）を行う縦割り班活動です。

このような縦割り班活動には次のようなメリットがあります。



5, 6年生(高学年)の責任感やリーダーシップが高まります。

- ・ 6年生は、ほぼ全員が班長や副班長となります。高学年の子どもたち、一人一人が各班の中心的な存在として活動することで、責任感やリーダーシップが高まります。
- ・ 低学年の、特に入学したばかりの1年生のためにがんばることで「自分は誰かの役に立っている」という自己有用感をもつことができます。

1, 2年生(低学年)の社会性が育ちます。

- ・ 中学年、高学年の子どもたちとの交流は、低学年の子どもたちにとって、年齢が異なる人たちとのかかわり方を学ぶ貴重な機会となります。
- ・ 上級生のやさしさや思いやりにふれることで、感謝の気持ちや「自分も人にやさしくしよう」という気持ちをもつことができます。

子どもどうしの関係が広がります。

- ・ 学年の垣根を越えて交流することで、子どもどうしの人間関係が広がります。人間関係の広がりは「自分への自信」「学校生活への安心感」「様々な活動への意欲」などにつながっていきます。

昨日(6/2)の“ふれあい清掃”1回目、「スタートの会」では、さっそく子どもたちのうれしい姿が見られました。

- ある班の班長(6年生)の「これから1年間、このメンバーで仲よくがんばりましょう。」というあたたかい言葉
- 班の中での自己紹介、順番が回ってきた1年生に「好きな食べ物、自分で言える？」とやさしく声をかける6年生と、その声かけに安心したように笑顔で答える1年生



今年の北小も「まなびいっぱい やさしさいっぱい げんきいっぱい」になるよう、この“ふれあい交流活動”を全教職員で盛り上げていきたいと思っています。

ご家庭や地域でのお声かけをどうぞよろしくお願ひいたします。